

土第183号
平成20年10月22日

国土交通省道路局長 様

澁川市長 木 暮 治



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

このことについて、別紙のとおり回答いたします。よろしくお取り扱いの程
お願いいたします。

担当 建設部土木管理課管理グループ
電話 0279-22-2117 (直通)

1 道路整備に関する財源の確保について

地方における道路整備の必要性や厳しい財政状況等を踏まえ、地域の課題に適応した道路整備を機動的に進められるよう必要な財源の確保に特段の配慮を要望したい。

なお、地方道路整備臨時交付金事業や地方特定道路整備事業などについては、地方における道路整備を進めるうえで大変重要な事業でありますので、整備採択基準の緩和、国における予算及び交付税措置の拡大をお願いしたい。

2 地域課題に対応した道路行政について

地方における道路整備は、交通の利便性向上や物資の輸送、災害や救急医療への対応、観光ネットワークの形成、さらには経済基盤の整備促進など、まちづくりの手段として極めて広範に重要な役割を担っている。

国の道路行政においても、地方圏域の行政課題に積極的な関与と連携を図り、早期に事業効果が発現できるよう重点的な取り組みをされたい。

3 道路維持補修の財源措置について

少子高齢化などの社会情勢の変動に伴い、地方自治体の建設関係に対する予算の確保は年々厳しくなっている。道路は市民生活と密接な関係にあるため、適正な維持管理は欠くことが出来ないものであるが、道路の耐用年数の到来や交通量の増加によって維持補修等の対応が限界になりつつある。

このため、確実な予算措置を講じる必要がありますので国において措置を検討してほしい。

今後の道路行政についての意見・提案
②-1 地域の現状と抱える課題

○現状	○課題
本市は、平成18年2月20日に1市1町4村の合併により誕生し、新市の一体性の確立と各地区の特性を活かした均衡ある発展を目指し、平成20年度を初年度とする新市総合計画を策定し、まちづくりに取り組んでいるところである。 また、地域が利根川、吾妻川により3地域に分断されている地勢の特性から、地区間の連携をより強固なものとするため、道路・橋りよう整備計画調査に基づいた橋りよう整備方針を定め、橋りようの整備の検討を進めているところである。 1 道路網の概況 関越自動車道が市の中央部を南北に縦断し、市内に2つのインターチェンジがある。 2 国道17号は関越自動車道と並行して走り、国道と主要地方道、一般道とを合わせた道路ネットワークは不完全ながら中心市街地を中心とした放射環状型を形成している。 3 都市計画道路の状況 都市計画道路は、渋川地区と伊香保地区に設定されている。計画延長は43.51km、整備率は57.2%である。 4 広域幹線道路の整備計画 前橋渋川バイパス、上信自動車道の整備が国県で進められている。 5 橋りようの状況 市域は、利根川、吾妻川で3地域に分断されており、現在、10橋りようが架橋されている。 6 渋滞ポイント 群馬県の指定する渋滞ポイント60カ所のうち、9カ所が市内に位置している。 7 中心市街地を形成する路線の状況 JR渋川駅を中心とする中心市街地の街区を形成する補助幹線クワースの路線や歩道の設置が遅れている。	1 幹線道路網整備の課題 (1) 放射環状型道路網の整備 (2) 渋滞の解消 (3) インターチェンジ・アクセスの強化 (4) 中心市街地における通過交通の抑制 2 道路・橋りようを活用したまちづくりの課題 (1) 河川分断部における交流促進 - 新たな橋梁整備 (2) 渋川総合病院と各地区の結節の強化 (3) 前橋市域・高崎市域との結節の強化 (4) 旧6市町村間の連携を高める環状道路の強化 3 観光ネットワーク創出のための課題 (1) JR渋川駅、2つのインターチェンジと主要観光拠点との結節の強化 (2) 歴史的遺産等の拠点を結ぶ南北軸の強化 (3) 北方面の市外観光拠点との交流軸の強化 ■当面の具体的検討課題 (1) 都市計画マスタープランの策定に向けての都市計画区域再編及び都市計画道路の見直し (2) 上信自動車道整備促進 (3) 道路・橋りよう整備計画基礎調査における整備方針に基づく橋梁整備に向けた検討

【総合計画における道路行政に係る位置づけ】

市の将来像を「やさしさとふれあいに満ちた”ほっと”なまち」とした平成20年度を初年度とする10か年の総合計画を策定し、将来像を実現するための施策を8つの分野に区分し48の施策を定めたところである。施策のうち、道路行政の推進を位置づけているもの及び施策を推進するための展開は以下のとおりである。

1 連携を強化する道路・橋りよりの整備

各地区の連携を強化し、交通渋滞の緩和や利便性の向上を図るため、幹線道路網の整備を行うほか、河川で分断されている本市の地形的特性を踏まえ、新たな橋りよりの整備を推進する。

- (1) 広域的な道路の整備
- (2) 都市計画道路の整備
- (3) 橋りよりの整備

2 生活に身近な道路の整備

地域内の生活に身近な道路の整備を進めるとともに、道路の維持管理を推進する。

- (1) 道路改良の推進
- (2) 生活道路整備の推進
- (3) 維持管理の充実

3 良質な市街地の形成

良好な市街地を形成するため、都市基盤と宅地の一体的な整備や密集した市街地の改善を進めるほか、個性あるまちづくりのための基本構想と市街地整備プログラムを策定する。

- (1) 市街地整備の推進
- (2) 土地区画整理事業の推進

【将来道路網構想実現のための道路橋りよう整備基本方針】

平成18年度、19年度の2か年にわたり、道路・橋りよう整備計画に係る調査を行い、将来道路網構想を設定した上で、道路網整備の基本方針を以下の4点とした。

- 1 市域形成のための幹線道路網
- 2 防災性向上のための幹線道路網
- 3 産業活性化・育成・誘導のための道路網
- 4 生活利便性の向上を図るための道路網

道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④
群馬県渋川市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
1 将来道路網構想の実現	主要な国・県道と連携した利根川及び吾妻川への橋りょう整備	河川で分断された3つの地域を連絡することで、円滑な交通流動の確保や地域相互間の連携強化など、合併後における地域の一体性の確立が可能となる。あわせて、国・県で整備を進めている上信自動道の整備計画や既存の国道（17号、353号）との連携を図ることで、地域の懸案事項である慢性的な渋滞解消や災害時における緊急輸送体系、医療圏域における緊急時の対応、広域的な観光連携など、道路ネットワークの形成によって、まちづくり計画へ有効に反映させることができる。 また、県央地域における広域交通体系（県土整備プランの渋川地域プランへ登載予定）と整合した整備が図れる。	